

2. ソフト施策に関する検証

(1) 持続可能な広場運営に関する検証

検証結果

- 平常時およびイベント時におけるごみのポイ捨て対策、トイレの誘導案内、電源、駐輪対策、バリアフリー対策、荷捌等車両乗入、備品の一時保管等の各種の課題が明確になった
- 道路法、都市公園法、河川法、景観法に基づく許可手続き、消防、保健所手続きなどさまざまな協議、申請が必要になったことがわかった



今後の方針

- 平常時、イベント時それぞれの広場運営に関する各種ルールをガイドラインとして取りまとめ、運用実績を積み重ねる
- 行政手続きの一元化など、各種手続きを効率的に行うための仕組みを検討する。また、その仕組みを持続的に運営できる体制を構築する



<備品保管用テント>



<臨時駐輪スペース>

項目	検証結果
トイレの運用	● 公園内には、なにわ橋の東側と市役所にトイレがあるが、イベント時は公会堂のトイレ利用が増加した
ごみ対策	● イベント時には、周辺を含めた清掃・ごみ回収が必要であった
備品の保管	● 複数日にわたって連続開催するイベントでは、備品の一時保管スペースが必要であった
電源の設置・運用	● イベント時の電源ニーズが高く、配線が点字ブロックを横断せざるをえず、通行に支障がないよう養生をおこなった
身障者用バスの運用	● イベント時の設置場所と運用ルールがなく、平常時およびイベント時における運用ルール取りまとめが必要
荷捌きバスの運用	● イベント時の運用ルールがなく、平常時およびイベント時における運用ルール取りまとめが必要
自転車駐車場の運用	● 非常に高い駐輪ニーズがあり、来場者が多数予想されるイベントでは臨時駐輪場の設置、および不法駐輪対策が必要

(仮称) 中之島広場沿道連絡会

【構成員】

大阪市中央公会堂、GARB weeks、京阪ホールディングス（株）、こども本の森 中之島、水都大阪コンソーシアム、大阪市立東洋陶磁美術館、中之島高速鉄道（株）、NAKANOSHIMA SOCIAL EAT AWAKE、中之島連合振興町会、大阪市建設局

【協力】

船場倶楽部、にしてんバル実行委員会、（株）ワイキューブ・ラボ

【連絡会】

準備会：令和3年3月30日、第1回：4月28日、第2回：6月9日、第3回：10月8日、第4回：11月10日、第5回：令和4年3月（予定）



<沿道連絡会の様子>



<配線養生の様子>

(2) 自転車の通行ルールに関する調査

検証結果

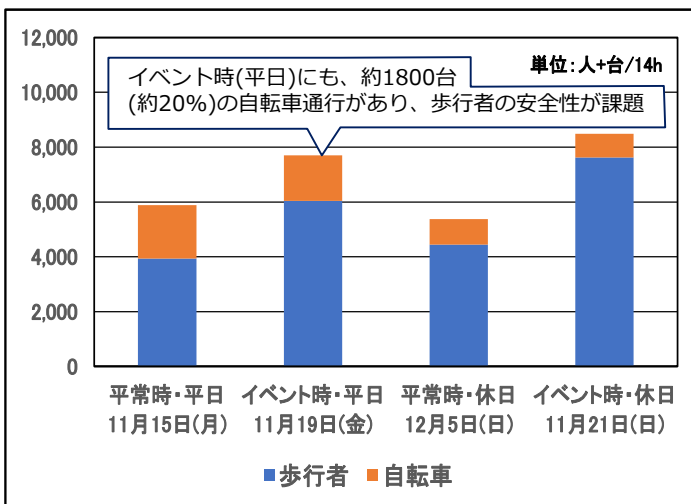
- 平常時、イベント時ともに自転車の通行ニーズがあることを確認



今後の方針

- 平常時、イベント時それぞれにおいて、歩行者、自転車の通行ルールを検討する

<歩行者自転車交通量調査>



<自転車の押し歩きの様子>



<啓発看板>